

## 活動計画推進・評価委員会報告書(案)に対するパブリックコメント

- 予算をフル活用し、存分に働いておられる事に感謝いたします。頼りに致しております。
- 「一階相談コーナー」でも「健康課」でも「社協」でも良いのですが、『健康、医療相談の窓口』がほしい。素人集団のミニディでは対応できません。独居の方が多くなり本人もパニック状態になります（周辺も）。（素人が一生懸命の由に期待させてしまい、双方押しつぶされてしまうのが苦しく悲しい）
- 男性の退職者のボランティア体験のコーディネートは出来ませんか？
- 相手の施設や団体、グループにご協力頂き、例えば二週間程度の実地に習いをし、自主グループを作るもよし、例えば昼食サポートで、見習いを預かり、お教えし、その後の私共のグループに入られるも可、自主グループを作られるも可、また一つの経験をなされるも可。といった風に、具体的な一步を障害者や高齢者の施設で、手のつけられる所から展開模索はどうでしょうか？ 社協の名の信用を活用して！！
  
- 社会福祉協議会の活動の評価を云うと、どうしても今迄の結果に○、×をつけなければならないようになり、又社協自体の動きとなると、あれもこれもと総花的なものとなる事は“いなめない”その結果であろうと思うが事業評価の方法の結果にしても一般来場者数が15人、10人、14人と云う結果の数字に表れて来るものと思われます。一般来場者とあるからにはその対象となる人が何人か換言すれば分母の数となる可き数が何人としているかを考えた時、恐らくその比率たるや想像するに■くないものがあります。総花的な活動これは社協というものの立場から止むを得ないとは思いますが、その中から一つを抽出してこれを年間の行事予定に細分化しPRを徹底し、少なくとも今年度の社協の行事重点目標はなんたるかをはっきりとし、それに地域の人々の理解を得た上で少なくとも市民の五人に一人が理解できるようなものを作らなければより一層の力が生まれて来るものと思えます。以上  
(平成18年12月12日現在)
  
- 手芸クラブですが今まで通りの活動を続けて行きたく思っておりますが5月以降、場所の事で試行錯誤してまいりました。現在、中央地区センターの一角をお借りして活動して居りますが、一番困っている事は材料置き場です。その都度必要と思われるものを各自持参して居りますが完全ではなく大変不便を感じております。できればダンボール2個ぐらいでも置かせて頂く場所があればと痛切に思っています。
  
- 「某作業所」からは、助成金の申請がなかったからか、助成金が支払われていない。「某作業所」では現在、老朽化したパソコンや印刷機を使用して、作業を細々と行っている。せめて安価なパソコンを提供して作業をやりやすくさせてあげるべきである。「某作業所」

では新しいパソコンや印刷機を欲しているものと思われる。必要機器、台数、印刷機ほどのくらい必要かは不明であるが、一度作業所へ見学に行き、現状を把握し、援助の手を差し伸べるべきである。街で働く精神障害者を応援してあげてほしい。

・パンを売る障害者団体が金曜日に社協へ来ているが、これは微笑ましい事である。スタッフの皆さん、手を休め、財布の紐を大いに緩めて、積極的に買ってあげてください。かなり美味しいパンです。

・そこで「くるめ一步の会」でも無農薬・有機野菜を販売させて頂けないでしょうか？ 曜日、時間帯交渉必策です。何とかよろしく！

○私は地域福祉活動の一環として、ささやかながら近隣高齢者の自立に繋がる様にと、日頃活動しております。一人で動ける人、誘ってもしぶる人、はたまた年を重ねると業が強くなり、誘うだけでも工夫が必要です。指導者の自立計画を建てる手助けをしてくださる方も少なく、困惑しているのが現状です。私自身も高齢者の仲間ですので、活動にも限度があります。その援助の一端として、地域の民生委員さんに一緒にお手伝い頂けないのでしょうか。ボランティア活動は幾らでもあると思います。私自身は動ける内は少しでも助け合う努力をしたいと考えますが、お手伝いの勧誘で、強制や一方的に仕事を宛てがう事はできませんので、苦勞するところです。このところ、自立という名のもとに、障害者や身体不自由な高齢者が助成を受けられず、不安な生活をして居られる話を見聞します。福祉活動や助成が今までより余りにも極端に変わっているのは、行政の在り方がデスクワークすぎるからではないでしょうか。市の福祉事業にしても、机にばかりしがみついているで、現状を見て廻るのも大事な仕事の内と考えます。そして市民の声を聞き、活動しやすい環境を作るように心がけて頂きたいものです。お願い事をしても規制を盾に拒否されること多々あります。現状に合わない、時代にそぐわない規制は変えるのが当然です。その努力こそが福祉行政の一番大切な仕事ではないでしょうか。ご自分の職場の安泰ばかりを考える、事なかれ主義は止めて頂きたいものです。ご自分の仕事に自信と誇りを持って活動して下さい。お願いします。自立を心がけている市民の手助けを、もっとして下さい。

○少子、高齢化、世相はゆがんだ情報ばかり、今こそ（遅すぎる）地域力を深める大切さの必要性を切実に思います。当団地も建替中のなかで、横のつながりが希薄になりつつあります。特に高齢者（ひとり暮らし）障害者は心配し合って生きているのが現状ではないでしょうか。「いこいのプラザ」は毎日寒い日、多少の雨でも逢える喜びを求め集まってきます。でも内心は雨風しのげ自由に安心して誰でも、いつでも出入りでき、心寄せ合える拠点が必要だと思っています。これだけの集合住宅に「みんなの実家」のような場所がないことがおかしい。と皆さん感じている筈です。ご協力を是非お願いしたいのです。別紙は30台の仲間（ご自身体験上）一只今、病氣治療中ひとり暮らし一共通の思い、願いを切実にお持ちで、一生懸命な考えを寄せて下さった書面です。そのまま

添付させていただきます。希望につながる事を願っております。以上

